

げんざい



病院理念

人にやさしく 信頼される病院

基本方針

- 私たちは 皆様の権利や意思を尊重し、納得のいく医療を提供します。
- 私たちは 地域に必要な医療を提供し、健やかで豊かな地域社会の実現を目指します。
- 私たちは 安全で良質な医療を提供するため、日々研鑽いたします。

日本医療機能評価機構認定病院
羽咋郡市広域圏事務組合

公立羽咋病院

〒925-8502 石川県羽咋市の場町松崎24番地
TEL(0767)22-1220 FAX(0767)22-5598
<http://www.hakuihp.jp/>

外来化学療法について



副院長 坂田 則昭

化学療法とは、抗がん剤を使用する治療方法のことです。がんは、がん腫の大きさ、壁深達度(T)、リンパ節転移(N)、遠隔転移(M)により、進行度を決めます。

がん化学療法においては、1) 切除不能・転移(進行度Ⅳ期)・再発がんに対する化学療法、2) 進行度Ⅱ～Ⅲ期手術後の転移・再発を予防する術後補助化学療法の2つに大別されます。

がんは進行度Ⅰ～Ⅳ期にステージ分類し、その進行度に準じて治療します。それぞれのがん治療のガイドラインがあり、全国のがん治療に携わる医師は、それによって治療をおこなっております。

私ども、羽咋病院の外科では、主に胃癌、大腸癌、膵癌、乳癌の化学療法をおこなっています。以前より化学療法はおこなっていましたが、外来化学療法と言えるのは、平成18年頃から開始しております。平成26年2月に外来化学療法室ができ、より安全・安楽に治療を受けていただいております。

今回は最近増加している大腸癌の化学療法について説明します。主におこなわれるのは、分子標的治療と、FOLFOXかFOLFIRIの組み合わせにておこないます。分子標的治療とは、上皮成長因子受容体(EGFR)に作用して、腫瘍の成長を阻害するものです。また、FOLFOXとは、オキサリプラチン(OX)と、5FUの2種類の抗がん剤を使用します。また、FOLFIRIは、イリノテカン(IRI)と、5FUを使用します。

実際には、切除不能・再発大腸がんを診断しましたら、それぞれの患者さんの状態を把握し、厳密にその適応を判断し、同意を得ておこないます。まず、入院の上、中心静脈カテーテルと皮下埋め込みのポートを設置し、投与ルートを作製し、1回目の化学療法をおこないます。2回目からは、外来治療に移行します。分子標的薬(アバスチンかベクティビックス)を投与し、次に制吐剤(ステロイド、アプレピタント、5HT3受容体拮抗薬)を組み合わせ、副作用の嘔気・嘔吐を抑えるようにします。

次に、オキサリプラチン(FOLFOX)かイリノテカン(FOLFIRI)を投与、同時に5FUの効果を高めるレボホリナートを投与し、5FUを投与します。外来治療はここまでで、この後在宅などにて、46時間にわたって5FUを専用の注入器を使って投与します。合計、約50時間の投与となります。こうして、2週間に1回のクールにておこないます。

投与前には、血液検査(特に白血球(好中球)血小板の減少などの骨髄抑制のチェック)をおこない、口内炎・下痢・食欲不振・悪心・嘔吐・末梢神経障害などの有害事象をCTCAE分類より、グレード1から4に分類し、抗がん剤の副作用をチェックし、減量・休薬などをおこないます。



このように治療をおこなうことにより、以前は切除不能・再発大腸癌は1年以内にほぼ亡くなられていましたが、現在では2年以上、30ヶ月くらいの生存が期待されます。当院では、一例の完治症例がありますが、なかなか完治することはありません。

2週間に1回の外来化学療法を続けながら、ある程度普通の生活を得られるのが、外来化学療法です。

お知らせ

認知症解析ソフト「VSRAD」バージョンアップ 認知症鑑別診断に一役

日本では、高齢化社会の進展によって認知症高齢者が増加しており、社会的問題になっています。厚生労働省の推計によりますと、1995年に126万人だった認知症高齢者が2020年には292万人、25年で2.3倍に増加するといわれています。また、認知症の出現率は、加齢と共に増加し、85歳以上では4人に1人が認知症だと言われています。このように認知症は身近な病気なのです。

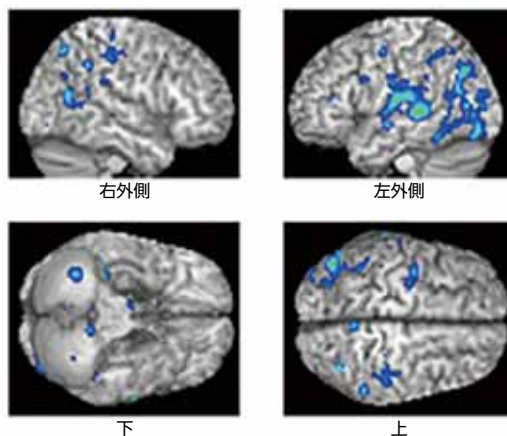
認知症は加齢による「もの忘れ」との区別がつきにくく、その方の「もの忘れ」が年齢相応の自然なものなのか、病的なものなのかをなるべく早く診断することが重要です。病氣的であれば適切に治療すれば、「もの忘れ」が治ることもありますし、「もの忘れ」の症状を軽くすること、進行を遅らせることができる場合もあります。早期診断、早期治療により高い効果が期待できると言われています。

当院では、これまでMRI画像をVSRAD「早期アルツハイマー型認知症診断支援システム」で解析したデータを提供してきました。

この度、新たな指標の追加により、アルツハイマー型認知症（AD）とレビー小体型認知症（DLB）の鑑別診断を支援する参考指標を追加したシステムにより両者のデータを提供できるようになりました。

アルツハイマー型認知症解析の精度の向上、レビー小体型認知症解析が可能となり鑑別診断支援に大いに役立つものと思っております。

放射線科技師長 木津 悟



※色のついている部分は、脳の機能低下が予測される場所です。

薬局システム変更

薬剤科の全てのシステムを一新し、更なる安全と業務の効率化をはかりました。

はじめに、内服の錠剤を一回分ごとに袋詰めする錠剤分包機は、最新鋭機に更新とともに、写真監査を行う機器を追加しました。従来からの薬剤師の監査（目視）だけでなく、記録にも残すことができるようになりました。

散薬監査システムは、白い粉薬ばかりの散薬を容器のバーコード識別により間違いなく秤量するシステムです。

錠剤識別監査システムは、他院処方で服用中の持参薬を判別することができるシステムです。

さらに、大病院などの一部病院でのみ導入されている、注射薬を患者さん一人一人の専用カートに取り揃える機器も導入しました。複数薬剤の特性などのコメントも出力され、医療現場での安全が増進されました。

最後に、公立羽咋病院では薬剤師の募集をおこなっています。

お知り合い、ご親戚の「薬剤師」を是非ご紹介下さい。

薬剤科薬局長 橋本 彰夫



行事紹介

家族介護者教室

今年、富山県の南砺市民病院の竹内嘉信（医療ソーシャルワーカー）さんから「介護が必要になったときのために」というテーマでお話しをいただきました。参加者は11名で、入院患者さんのご家族の方もお話を聞きに来られていました。介護が必要になった時に、不安を解決する様々なサービスについて勉強しました。



地域包括医療推進研修会

「在宅移行の多職種連携」というテーマで南砺市民病院の竹内嘉信さんにお話しをいただきました。多職種連携という内容のため、院内職員の他、23名と多くの院外の多職種の方々の参加がありました。当院に限らず重度の患者さんの退院支援は、医療機関への転院や施設への退院を選択肢として提案することが多くなりがちです。在宅の様々なサービスや関係職種の支援者と連携することで、ご家族の不安をできる限り少なくし、在宅への退院支援が可能であることが、事例を通じて紹介されました。



リハビリテーション科士長 北谷 正浩

介護への感謝の気持ち

11月11日は介護の日です。石川県で募集した、「介護への感謝の気持ち」のなかから、羽咋病院に届いたメッセージをご紹介します。

*いつも丁寧に指導をしていただきほんとうにありがとうございます。お陰様で出来なかった事が出来る様になり感謝しております。

*いつも忍耐強く注意深く対して下さりありがとうございます。こんなに元気になりました。



ノロ対策 ICT 研修会

当院のICT（感染対策チーム）では、毎年インフルエンザ・ノロウイルスの流行に先がけて、院内外の医療・介護職員を対象



に研修会をおこなっています。今年も新型コロナウイルスも発見され、集団感染が懸念されています。そこで、今回はノロウイルス対策として「確実におう吐物を処理するには」をテーマに、模擬吐物に蛍光塗料を混ぜ、おう吐物の飛散範囲や、処理の際に身を防護するためのガウンなどの汚染状況を確認しました。

また、代表の方に実際に体験してもらい、「思ったよりも飛んでいる」「見ているのと実際にやってみるとでは違う」などの声が聴かれました。ちなみにおう吐物処理の3原則は『すぐにふき取る、乾燥させない、消毒する』です。今後も地域ぐるみでの感染防止対策をおこなっていきたいと思います。

感染制御実践看護師 北 信代

やすらぎコンサート

12月17日(木) 白百合幼稚園児たちによる、ハンドベル演奏が行われました。園児たちは、伴奏や先生の指揮に合わせて、真剣な眼差しで一生懸命演奏していました。演奏をやり終えた時のみんなの笑顔が、とても可愛かったです。コンサートの最後に、園児から来場者全員にメッセージ付きのクリスマスカードをいただきました。ありがとうございました。

医療サービス推進室
社会福祉士
西井 寿文



美味しく食べて健康に 冷え症予防

冬に美味しい鱈と長芋、そして血行をよくして冷え症緩和に最適な生姜を使って、身体を温めましょう。高齢者の方や胃腸の弱い方にもおすすめの食材で、当院のメニューにも取り入れています。

ポカポカ
メニュー

鱈のとろろ蒸し

《材料》【2人前】

鱈	160g (2切れ)
塩	1.0g (小さじ1/5)
長芋	100g (1/10本)
だし汁	100ml
みりん	4g (小さじ2/3)
濃口しょうゆ	2g (小さじ1/3)
薄口しょうゆ	6g (小さじ1)
片栗粉	3g (小さじ1)
生姜	適量
貝割れ大根	適量

《作り方》

- ①鱈は塩をして30分ほどおき、長芋は皮をむきおろしておく。
- ②耐熱容器に鱈を置き、その上におろした長芋をのせ、湯気上がった蒸し器で強火で約10分蒸す。
- ③鱈を蒸している間にあんを作る。片栗粉を除くあんの材料を全て鍋に合わせて煮立て、同量の水で溶いた片栗粉を加えとろみを付ける。
- ④蒸し上がった②に③のあんをかけ、生姜をのせて貝割れを添える。



《1人前の栄養成分》

エネルギー：107kcal たんぱく質：15.5g
カリウム：515mg 食塩相当量：1.3g

ポイント

- ・鱈は良質なたんぱく質が豊富に含まれ、体内で血液や筋肉をつくる大切な働きをします。また、ビタミンB2は粘膜を保護し、口内炎予防やかぜ予防にも効果があります。
- ・長芋にはでんぷん分解酵素のアミラーゼを多く含み、消化を助ける働きがあります。ぬめりのもとにはガラクトサンという成分で、胃などの粘膜を保護し、たんぱく質を効率よく消化吸収させる働きがあります。

ありがとうございます

- ♥ なぎさ表紙題字・絵手紙 辻口 敦子 様
- ♥ 写真 羽咋写真協会の皆様
- ♥ 絵画 羽咋美術協会の皆様
- ♥ 書字 羽咋市書道協会の皆様
- ♥ 俳句 宝達志水町若草会
岡部 和子 様 他
- ♥ ご寄付 図書購入用として
岩脇 昭 様
- ♥ ご寄付 絵画 水上 正子 様
- ♥ 園児の絵 余喜保育所



いきいき健康づくり教室 予定

♪どなたでも参加できます♪

コレステロール・あぶらで血がドロドロ

開催予定日：2/3(水)、3/2(水)、4/6(水)

第1水曜日 15:00～

場所：3階病棟 食堂談話室

高血圧・塩で血管がパンパン

開催予定日：2/8(月)、4/18(月)

月1回不定 月曜日 15:00～

場所：3階病棟 食堂談話室

ねたきりにはならない!

開催予定日：2/24(水)、3/23(水)、4/27(水)

第4水曜日 15:00～

場所：2階病棟 食堂談話室